

住宅都市から進める脱炭素社会の実現

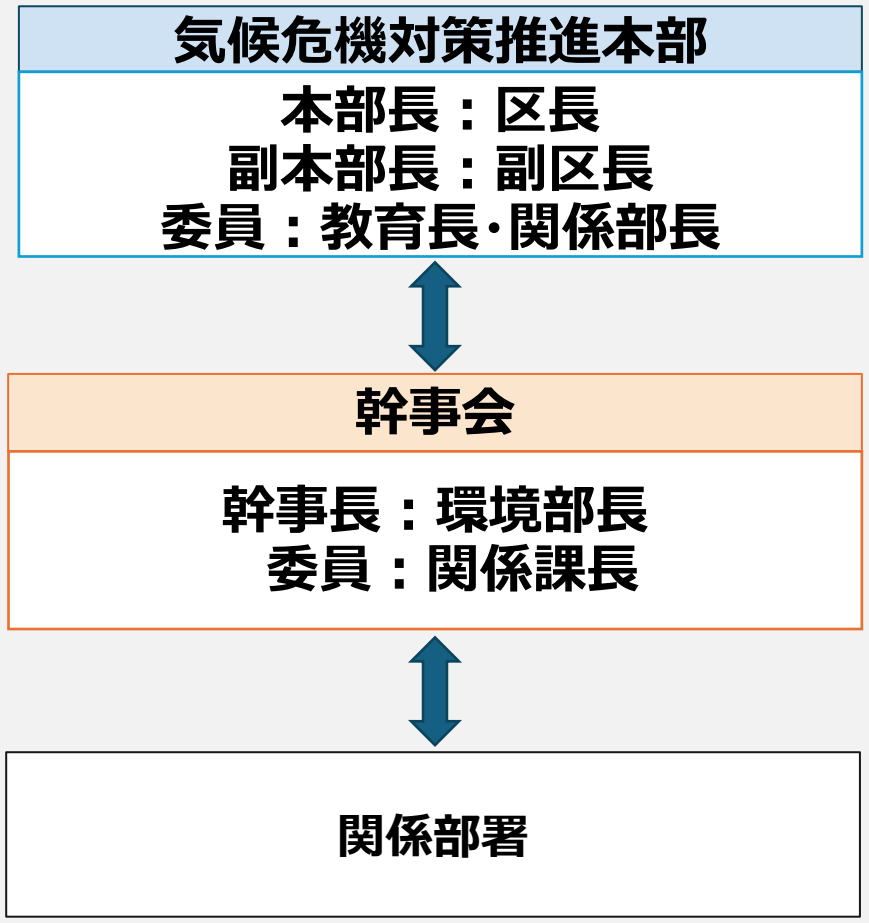
東京都杉並区

全庁的な気候変動対策を推進

気候危機対策推進本部の設置

気候危機対策推進本部の設置

区長をトップとする全庁横断の推進体制により、気候変動対策を総合的かつ一体的に推進



・区の気候変動対策の総合的な推進
・全庁横断による施策の調整
・区の機関における環境及びエネルギー管理

・推進本部を補佐
・部局間における実務の調整

・気候変動対策の実施
・所管事業における脱炭素化の推進

杉並区の脱炭素の取組

本日は、区が進める脱炭素化の取組のうち、主な３つの取組をご紹介します。

区民と取り組む	区が率先して進める	暮らしの質を高める
気候区民会議の開催	区立施設での再エネ100%調達	区営住宅での断熱効果検証



区民参加による気候変動対策を推進

気候区民会議の開催

気候区民会議の開催

・区民を無作為に抽出（5,000名）し、参加を呼びかけ
・希望者（199名）から、年齢層や性別、住所について区の人口統計を参考に80名を選出
・令和６年３月から８月まで全6回開催
・有識者等による情報提供を受けながら、エネルギー、循環型社会、みどり、交通をテーマに議論を重ね、区に33件の提案を提出



気候区民会議の開催

提案内容　【区民・事業者・区で気候変動対策を考える場を設け、積極的に情報を発信する】

区の対応：気候変動対策について考え、話し合う機会として、ユース世代を対象としたワークショップを実施し、参加者の声や活動内容をショート動画やレポートで発信



延べ317人が参加
（令和7・８年度）

気候区民会議の開催

提案内容 【杉並区内の生ごみを資源化し、杉並モデルの循環システムをつくる】

区の対応：家庭のコンポストで作った堆肥を農地などで活用する「すぎなみコンポストプロジェクト」を実施
生ごみを地域で循環させる仕組みづくりに着手

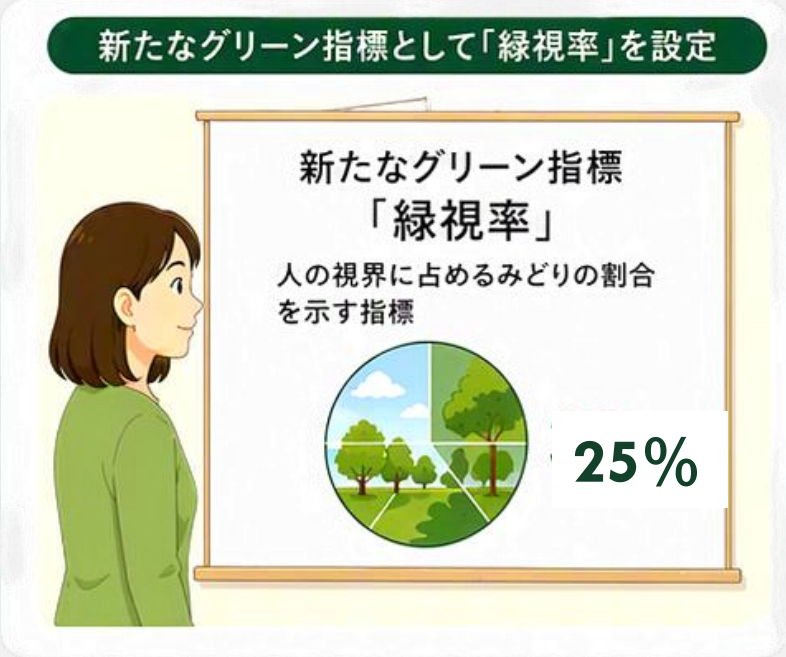


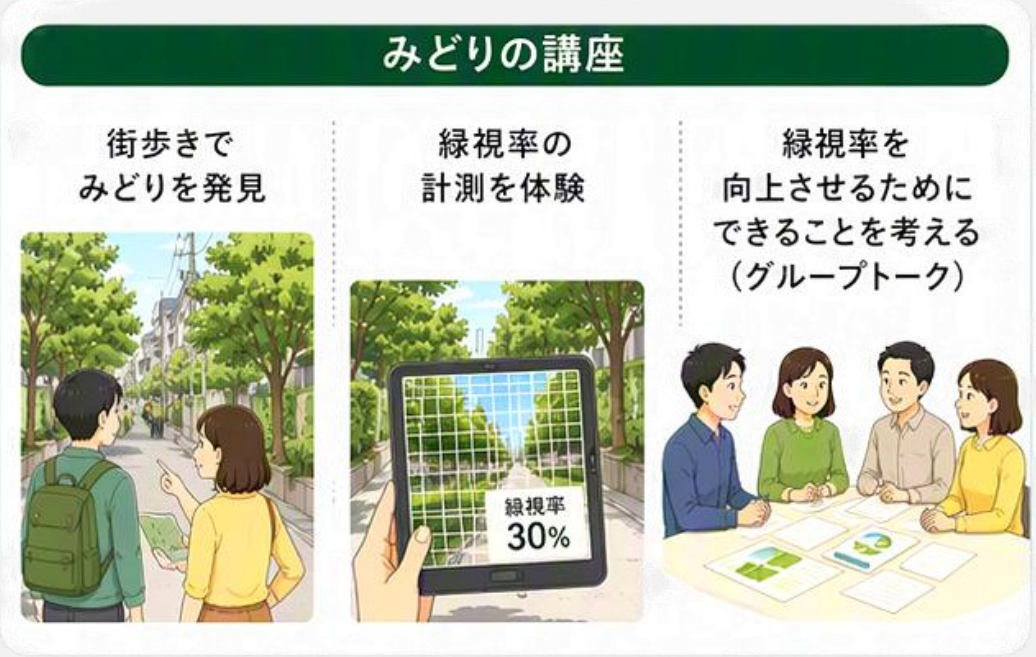


気候区民会議の開催

提案内容 【「わたしが緑をふやさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる】

区の対応：杉並区みどりの基本計画の改定にあたり、身近なみどりの豊かさを実感できる指標として新たに「緑視率」を設定。その向上ための講座等を実施

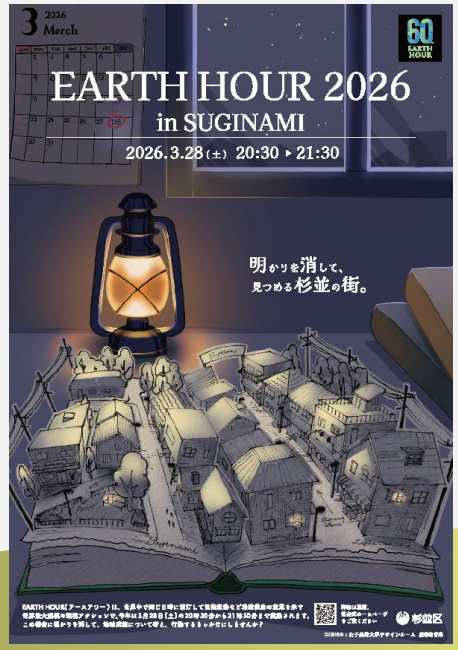




気候区民会議の開催

提案内容　【区民や事業者が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける】

区の対応：世界中で同じ日時に消灯するWWF （世界自然保護基金）の環境啓発イベント
「Earth Hour」に参加。区内大学や区内飲食店と連携して区民や事業者に周知





区立施設から広げる再生可能エネルギー利用の拡大

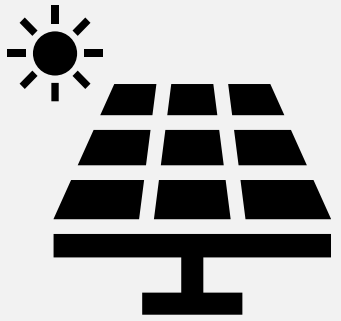
区立施設における再エネ100%電力の調達

区立施設における再エネ100％電力の調達

・令和６年度「区立施設への再生可能エネルギー電力調達取組方針」を策定

・全ての区立施設を対象として、調達する電力を原則、100％再エネ化

・区役所本庁舎や区立小中学校（61校）、地域区民センター、図書館、
保健センターなど、７年度末で139施設に再エネを調達

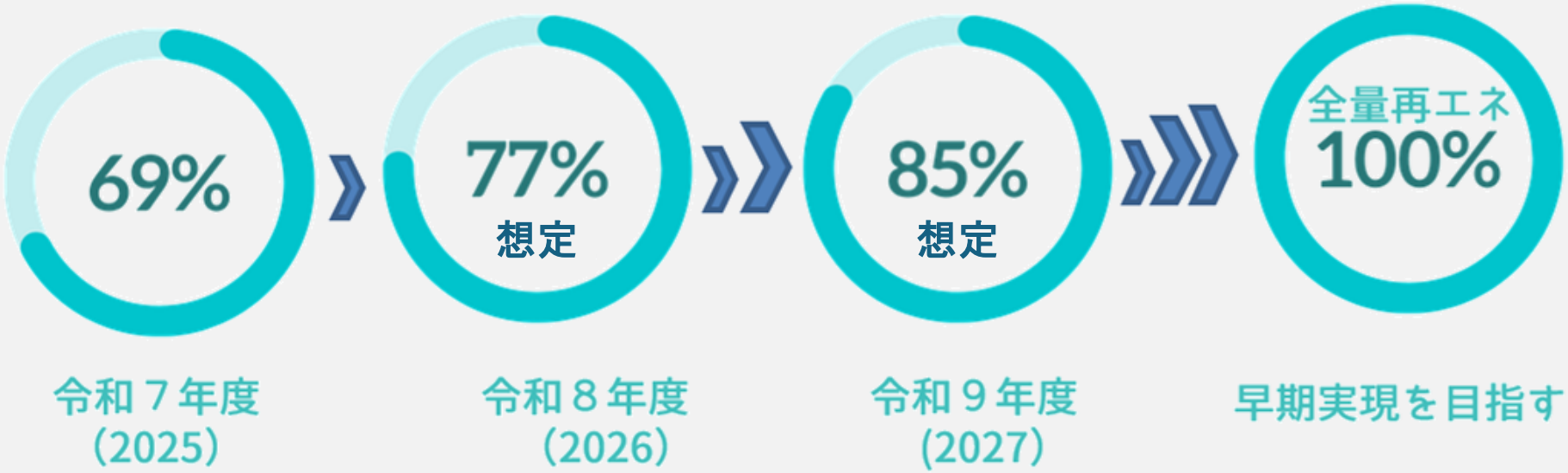


・指定管理施設運用ガイドラインにおいて、再エネ電力調達を原則化

・高圧受電施設を中心に進めてきたが、今後は低圧受電施設に調達を拡大

区立施設における再エネ100％電力の調達

区立施設調達状況



再エネ電力調達の拡大をはじめとする取組により、８年度中に

区の事務事業における温室効果ガス排出量50%以上削減を達成見込み

快適な暮らしと脱炭素を両立

区営住宅での断熱効果検証

区営住宅での断熱効果検証

・区営住宅の目標使用年数を70年であり、最も古い団地でも改築まで約20年

・昨今の急激な気温上昇への対応として、入居者の居住環境の改善が課題



・令和８年度に東京大学と協定を結び、窓断熱等の効果検証を実施

・民間の住宅等への展開など、脱炭素社会の実現に向けた環境施策の検討に活用



区営住宅での断熱効果検証

検証期間：夏季（７月～9月末）

冬季（１月～２月末）

測定対象：外気温、室内温度、壁(窓)面温度、消費電力等



高井戸西二丁目アパート



善福寺三丁目アパート

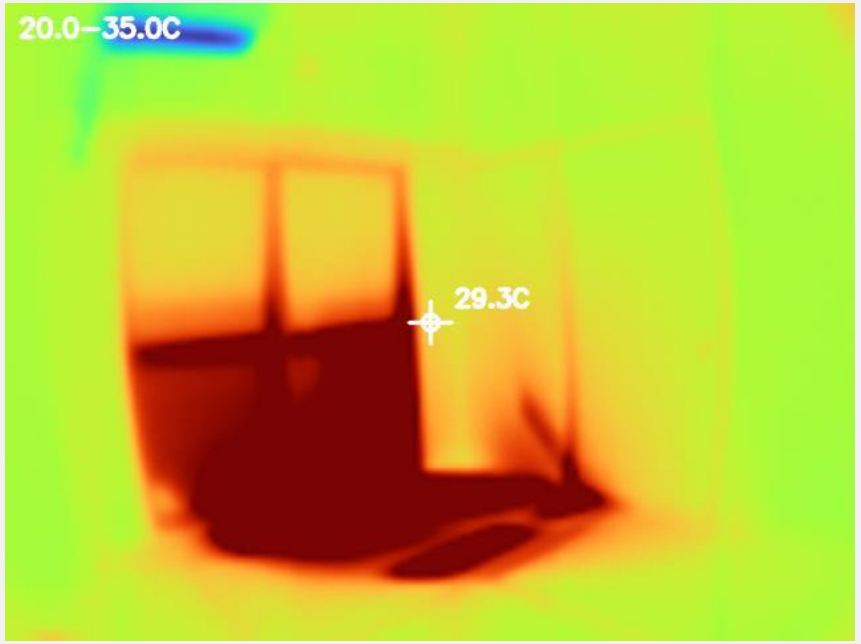
区営住宅での断熱効果検証

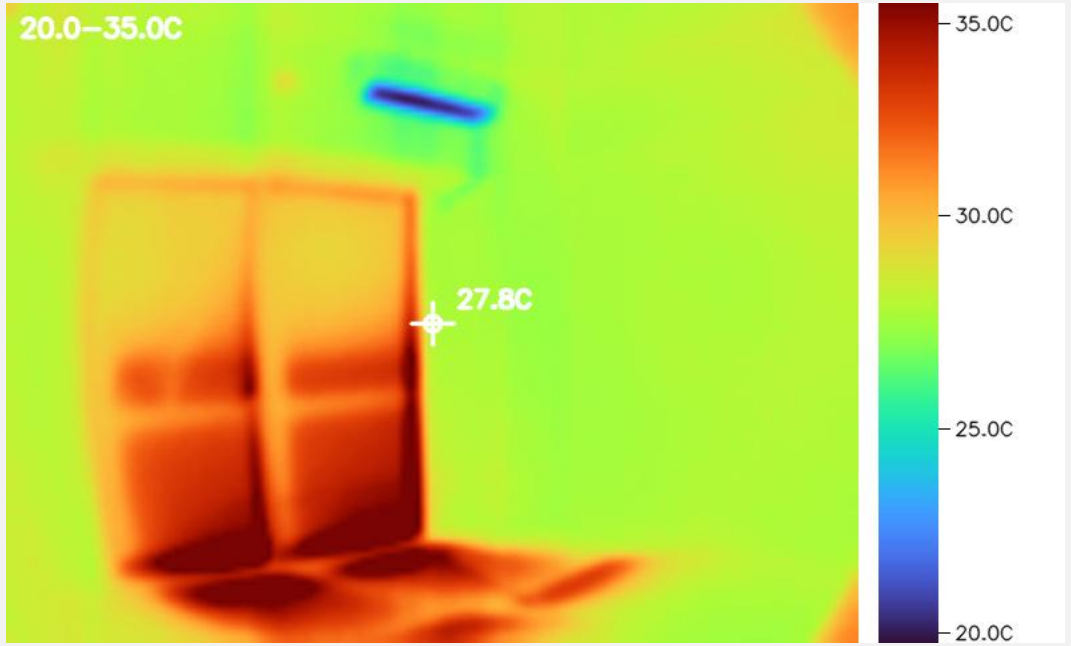


・内窓の設置

・高井戸西二丁目アパート、夏季、朝６時

・設置後、朝日による日射が緩和され、室内温度や床面、壁面の温度が抑制





区営住宅の断熱効果検証

・夏季の検証では、二重窓により室内環境の改善やエアコンの消費電力の削減に効果

・冬季は夏季よりも外気温と室温の温度差が大きくなるため、さらなる効果が期待され、ヒートショックや結露対策も含め、東京大学と冬季検証に向けて協議中

・９年度においても効果検証を継続し、その検証結果を踏まえて区営住宅の断熱改修の方向性を検討し、民間住宅への普及促進につなげていく

ご清聴ありがとうございました



区役所前の路面
太陽光発電